

2026 年 8 月 7 日
No. 2026-012

次世代省エネ型タンカー “TOKI MARU” 引渡

ジャパン マリンユナイテッド株式会社(本社：神奈川県横浜市、社長：廣瀬 崇)は、8 月 7 日(金)、有明事業所(熊本県玉名郡長洲町)にて MUTSU SHIPHOLDING S.A. (ムツ シップホールディング エス エー)向けに建造していたタンカー “TOKI MARU” (永希丸)を引渡しました。

本船は、弊社が永年に亘って蓄積した VLCC 開発のノウハウ、最新鋭の技術を結集した、次世代省エネ型タンカー N-Malacca 型 VLCC の建造第 2 番船です。

弊社にて豊富な建造実績を誇る商品であるマラッカマックス型の系譜を継ぎ、最新規則を取り入れ、従来船に比しての燃費性能の更なる改善、GHG の排出削減を目指し開発された商品となります。

【本船概要】

主要寸法 : 全長 339.44 m x 幅 60.00 m x 深さ 28.60 m x 喫水 21.035 m
総トン数 : 164,135
積載重量 : 311,845
航海速力 : 14.5
主 機 関 : WinGD 6X82-2.0-LP SCR 1 基
定 員 : 58 名 (Cadet 含む)
船 級 : NK
船 籍 : 日本

【特徴】

・ SOx スクラバーを搭載し SOx (硫黄酸化物) 排出規制に適合しており、SCR (Selective Catalytic Reduction) を搭載することで、NOx (窒素酸化物) 排出規制 (NOx Tier III) にも適合しております。

・ また、GHG (Greenhouse Gas) 排出規制である、EEDI (Energy Efficiency Design Index) に対しては、2025 年以降の契約船に適用される Phase3 レベルを満足しております。

・ 弊社独自開発の技術としては、最新鋭の省エネデバイスである新型 SSD®、SURF-BULB®、Multi ALV-Fin® と、静水中性能/実海域性能の両方の向上を目的とした船首形状である SP-BOW®、ならびに新型プロペラを標準的に採用しており、低燃費型エンジン (IMO NOx Tier III 対応 電子制御主機)、低摩擦塗料の採用を加味することで、従来船を大幅に上回るパフォーマンスを実現いたしました。

・ 本船は Cadet 育成の役割も担うべく、居住区内に教育用区画 “Lecture Room” を備えております。Lecture Room 内部には大型の窓やプロジェクタースクリーン等を配置しており、船上で VLCC のオペレーションを実際に観察しながら、2 クラス同時に講義を実施することが可能です。

弊社は今後も極めて高い燃費性能と環境性能を両立させた、エコシップの建造に努め、お客様の要望に最大限応えてまいります。

